

三河商人道

PART
211

杉林建設株式会社

営業部主任

内田 浩史君

青年部とは「大人のクラブ活動」



【会社・仕事への思い】

杉林建設株式会社の歴史は明治40年(1907年)に開業をし、今年度で59期を迎える。代表取締役の杉本知治氏は3代目を継いでおられ、更に青年部の歴代会長でもあります。岡崎市の建築業界を担っているだけでなく、地域事業などにも目を配らせながら常にお客様目線で考える事を目指している企業です。市内では公共の建物(自然科学研究機構、学校、岡崎市中央総合公園、市民会館、今年の夏にリニューアルした籠田公園などは馴染みもあり身近に溢れていて記憶に新しい。

【青年部に入会されたきっかけ】

最初に青年部へご入会をされていた現在の社長である杉本知治氏→杉林環境企画(有)の古澤一幸氏→そして当人である内田先輩へとバトンを繋ぎ現在に至る。社長からの強い勧めと要望を一心に受けご入会を果たす。今年度の委員会メンバーから懇親会の部ではパフォーマンスの要望を一心に受け、プレッシャーの中、華麗に邁進しながら現在も貪欲に遂行し続け岡崎の夜空を狭く羽ばたく。

【思い出に残る青年部活動】

2012年(平成24年)の1月入会。その年のジュニア・エコノミー・カレッジ3周年での取り組みでサポーターは現交流委員会メンバーである高橋進君と色々な場面(非公開:コンプライアンス)で意気投合をする。子供たちが一生懸命に参加をする姿に感動と驚嘆をした。同時にコミュニケーションをはかるのがとても大変だった。税理士の野々山育成君は当時委員会が違うのにも関わらず、なぜだか青年部での時間を共に過ごす事もあり好意的な存在だった。平成26年度の相互啓発委員会の際は鈴木久雄委員長の副委員長(参謀役)として活躍、事務所まで遅くまで資料作りをするなど精魂尽き果てるまで取り組む。平成29年度には創生委員会の委員長として拝命を受ける。会社では一従業員なのでリーダーシップをとる事などの貴重な経験が得られ辣腕を振るった。委員会後は娯楽活動も充実しており久山副委員長や野々山君と夜な夜な盛り上がった。

【趣味など】

映画鑑賞でジャンルは歴史ものが好き。『ベン・ハー 終わりになき伝説』、『アラビアのロレンス』、監督では黒澤明氏、石原慎太郎など。プライベートではお茶目だっりする傍ら、硬派な一面も併せ持ち非常にニヒルな先輩である。旅行なども好きで、独身時代には一人キャンプなどで東北地方、能登半島、丹後半島など内田先輩らしい独創的な場所選びをする。

【青年部とは・・・】

同じ目的で活動に取り組んでいる内に発見があり仲良くなれる。学生時代と同じノリでクラブ活動が出来、仲間意識が芽生える場所。勿論、夜のクラブも大好きと付け加えることは敢えて云うまでもない。(著:週刊交流社)



建設業
Construction

内田浩史



「ウッチー 大好き！」

取材協力 / 交流委員会

安藤 暁 禿子 諭

仰木 香り 阿讃坊 明孝

内田 光栄 神谷 明徳

小塚 幸美 澤野 一郎

杉山 恵里奈 高橋 進

戸松 政洋 鈴木 伸彦

大野 俊介

